

バングラデシュ・ホビゴンジ県における 環境教育を通じた環境保全と 森林再生プロジェクト

Srabon Villa, House No.5485/3,
Rajnagar Residential Area,
Habigonj-3300, Bangladesh

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



配布されたポスターと教材を見る児童

環境ボランティア数 **1,500人**

環境祭りの参加者 **10,000人**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する
達成度 **100%**

課題

地域の工業化に伴い環境が悪化していることに対して、住民の意識が低いこと。また環境保全のためのイニシアティブをとらないこと。

目標

地域住民が、持続可能な環境保護活動に参加・行動すること。行政機関が本プロジェクトを認知し、その活動の一部あるいは全体を引き継いで実施するようになること。

活動内容と成果

ホビゴンジ県内にある60校の小学校・高校で各校生徒30名からなる環境クラブを結成し、学校や地域内美化・緑化に努めた。

プロジェクトでは地域内2か所に苗木生産所をつくり、地域住民への苗木配布

を実施した。

これらの活動を通じ、地方教育行政も環境教育の重要性を理解し、事業対象外の学校でも花壇設置のための予算化が行われるなど本事業のインパクトが発現し始めている。

2017年春の大洪水により収穫前の稲作が大打撃を受けたことで、子どもたちの出席率の低下がみられることからその対策が課題となっている。



児童による植樹(苗木の配布)

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

行政との関係強化と住民の参加。期初に起きた洪水に対する対応。

■ 工夫した点

行政と定期的に会合を持ち活動の周知徹底に努めた。

今後の展望

課題となっている洪水への対策は、適応可能な農業技術の移転を視野に農業行政との連携を通じ、農業技術の移転など一部試験導入を模索する。これにより住民の生計向上とそれによる就学や教育の定着を目指す。